

# 公益社団法人 玉川法人会 「新年ご挨拶」

## 副会長 総務・財務委員長 平山 武司



新年あけましておめでとうございます。  
当たり前にあった正月風景が一変して早3年、ようやく緩和が進み始めましたが、自制が求められる日々がもうしばらく続きそうです。法人会活動も徐々に正常化してきていますが、引き続き細心の判断を求められる場面も多く、財務的観点からも未経験の対応が求められています。正常化が進みつつある今、必要なのはビフォーコロナに戻すことではなく、これからの時代にふさわしい行動様式を取り込み、それにふさわしい予算立案・執行のあり方を追求し、会員にとってより有意義な法人会となるよう努めていくことです。  
皆様にとってこの1年が健やかで、満ち足りた時となることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 副会長 組織・厚生委員長 松浦 政幸



新年明けましておめでとうございます。  
会員の皆様におかれましては輝かしい一年の幕開けをお迎えの事とお慶び申し上げます。さて、昨年はコロナ禍3年目の状況ではありましたが、私が担当する組織・厚生委員会も感染対策を講じながら、計画された全ての事業を行っております。来年度も同様に行う予定でありますので宜しくお願い申し上げます。また支部再編という大きなテーマを提起させて頂きました。どのような方法が良いのか試行錯誤の中進んでいくかと思われそうですが、法人会がより活性化し、会員の皆様にとってより良い会へと発展させる一助となりますように今年一年頑張っていく所存です。  
皆様のご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

## 副会長 社会貢献・公益事業推進委員長 村田 宣政



明けましておめでとうございます。  
昨年は公益事業推進としては支部支援事業を中心に、社会貢献としては通年3事業をとどこり無く実施でき、ご理解いただき感謝申し上げます。  
これまでの事業を通じて感じます事は、我々はこの玉川法人会が一体どういう団体で何のために存在している団体なのか、そして玉川法人会は一体誰の為に、また何の為に活動しているのかを考えさせられる一年でもありました。このコロナ感染禍をそろそろ終える事を念頭に置いて考える時期にも来ているかと感じております。我々のビジネス、生活環境においてもITやAIがこれまで以上に浸透していく事は必至ですが、これからの玉川法人会の活動の中心は今迄以上に真の意味での会員と会員の繋がり、支部と会員との繋がり、法人会と地域との関係が尚一層重視して、それをどの様に実現して行くか、が試されていくのだと認識しております。玉川法人会におきましても公益事業を通して、税の関連事業の充実を通して、地域との繋がりをより一層担っていく責務もあると考えております。  
本年も政治経済も益々厳しい環境になる事予想されていますが、「出来ないと言う事の前には出来る事」を考えて一つ一つ事業を着実に実行して行きましょう。どうぞ本年も宜しくお願い致します。  
この一年、皆様にとりまして素晴らしい年である事、御祈念申し上げます。

## 副会長 会館建設推進委員長 大塚 繁夫



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
昨年も新型コロナウイルスが収束しない一年となりましたが、感染や被害を受けた皆様には心よりお見舞い申し上げます。新型コロナウイルスが早期に収束し、本年が素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。  
会員の皆様にはコロナ禍にもかかわらず、昨年も法人会活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。また、玉川税務署の皆様には、ご指導ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

## 監事 久野 豊仁



あけましておめでとうございます。  
皆さまにおかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
社会全体も「新型コロナウィルスのトンネル」からやっと抜け出し、法人会事業もこれまでどおり着実に回復していくと願っております。  
昨年末あたりから、「増税」の言葉がメディアをにぎわすようになってきました。1月から始まる通常国会において「令和5年度税制改正」が議論され、決定されていきます。今年は相続税・贈与税に関する気になる改正も予想されています。今後の情報にご注意頂くとともに、法人会の税務研修の充実を期待いたしております。  
皆様のご事業のますますのご発展とご健勝を心よりご祈念申し上げます。

## 監事 大鎌 博



2023年「癸卯（みづのとう）」頒春。皆さまにおかれましては、健やかな初春をお迎えのことと存じます。癸卯は古来、これまでの努力が実を結び、成長・飛躍する一年、と言われております。私たちの日常生活だけでなく、国内・世界を取りまく懸案の事ごとに対する長年の試行錯誤が、建設的な着地に向けて結実していくように心から願っています。さて、新型コロナ禍のなかにありながら、社会の趨勢は「withコロナ」志向にあります。現実的には、できうる限りの感染予防を継続しながら、日常生活を活性化させるということなのでしょう。倦まず弛まず、この一年を乗り切って行きましょう！！

## 税制委員長 大島 光隆



新年あけましておめでとうございます。  
税制委員会は今年も・公平な税制・簡素な税体系・税と社会保障の一体改革等を柱として皆様の税に関する要望やご意見を税制改正に反映させるべく活動してまいります。何卒、税制委員会の活動にご支援・ご協力くださいますようお願いいたします。  
今年卯年、「これまでの努力が花開き、実り始める」年といわれています。皆様、ウサギのようにジャンプされ、新しき年が充実した年であることを祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 広報委員長 清水 明洋



新年明けましておめでとうございます。  
昨年は、広報誌の発刊にご協力頂き誠にありがとうございます。コロナ禍で、やむなく行えなかった各事業もだんだんと再開され、誌面も充実してまいりました。今年は皆様にとって、また法人会にとって更に有益な広報誌を目指し、税務情報含め、誌面の充実を図ってまいります。引き続きのご協力の程、よろしく申し上げます。

## 研修委員長 尾沼 明



新年明けましておめでとうございます。  
旧年中は会員の皆様方をはじめ多くの方々にご指導、ご協力を頂き本当にありがとうございました。昨年もコロナ禍での事業実施となりましたが講演会、研修会共に計画通り無事に実施できたことに安堵しました。今年こそは新型コロナウイルス感染症の影響がない、元の社会に戻ることを期待しています。  
本年もよろしくお願い致します。

